

令和5年度 第1回公立学校共済組合岩手支部運営審議会議事録（要旨）

1 日時 令和5年6月12日（月） 10：00～11：00

2 場所 サンセール盛岡 「エメラルド」

3 出席者

(1) 運営審議会委員（9名）及び監査員（1名）

坂本	美知治	委員	
佐藤	工	委員	
神久保	貴幸	委員	
鈴木	美成	委員	
高橋	克典	委員	
三田	正巳	委員	（代理 高橋 一佳 氏）
村上	智加子	委員	
八重樫	千晶	委員	
柳田	陽一	委員	
高橋	輝久	監査員	

(2) 支部職員及び盛岡宿泊所職員（14名）

佐藤	一男	支部長
大森	健一	副支部長
中川	友治	事務局長
高橋	茂樹	盛岡宿泊所支配人

（ほか支部職員12名、盛岡宿泊所職員3名）

4 会議次第

- (1) 開会（出席委員の報告、委員9名（うち代理出席1名）監査員1名）
- (2) 支部長挨拶
- (3) 委員等紹介
- (4) 会長等選出
- (5) 会長あいさつ
- (6) 議事  
議案第1号 令和4年度公立学校共済組合岩手支部決算について  
議案第2号 令和4年度公立学校共済組合盛岡宿泊所決算について
- (7) その他
- (8) 閉会

## 5 議事録 (10 : 00)

### (1) 支部長挨拶 (要旨)

本日は、お忙しい中、運営審議会に出席いただき、誠に感謝申し上げます。

公立学校共済組合全体としては、令和4年10月地方公務員共済組合法の改正に伴い、新たに短期組合員が加入したことから組合員数及び収入額が増となっているものの、今後は、組合員の定年等による退職者の増加や学校の統廃合等による組合員数の減少が見込まれ、収入についても減額が見込まれている。

支出については、高齢化や医療技術の進展による医療費給付が増大しており、限られた財源の中で、今まで以上に効果的で効率的な事業運営に取り組まなければならない状況である。

このような状況を踏まえ、当支部では、昨年度の保健事業について、組合員の健康の保持増進及び疾病予防を図る観点から、特定健康診査及び特定保健指導の実施率の向上に努め、広く生活習慣病予防の意識啓発を図るため一部の事業においてWEBを活用した事業を実施するなど、早期発見、早期治療、重症化予防に取り組んでいるところである。

メンタルヘルス対策においては、一次から三次までの段階的な予防策を継続するとともに、専門医による相談窓口を毎月設置し、相談体制の強化を図った。

盛岡宿泊所については、組合員の皆様から、多大なご支援を頂いているところであるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け大変厳しい状況が続いている。

今後においても、安全・安心な施設、心あたたまる優良なサービスを提供する施設として、一層のサービス向上に向け、支配人を中心に、支部と施設が力を合わせて経営改善に努める。

本日の審議会において、令和4年度の岩手支部並びに盛岡宿泊所の決算についてお諮りするので、忌憚のない御意見を頂戴し、審議いただき、原案を承認いただきたい。

### (2) 会長等選出

今回新たな任期となるため、委員の互選により、会長に岩手県教職員組合の佐藤工委員、会長職務代理者に岩手県中学校長会 鈴木美成委員が選任された。

○会 長 佐藤 工 委員 (県教職員組合 中央執行委員長)

○会長職務代理者 鈴木 美成 委員 (県中学校長会 副会長)

### (3) 議事

#### 【議長あいさつ (会長)】

公立学校共済組合に関わり12年目になった。支部長の挨拶にもあったとおり、コロナの影響でサンセール盛岡の経営が非常に厳しくなっている。支配人をはじめ職員の方々一生懸命頑張っている。コロナの影響は大きいので今日お集りの皆様がそれぞれの立場でサンセール盛岡の利活用を進めていただきたい。公立学校共済組合の維持発展のために皆様方にさらなる御協力をお願いし、挨拶とする。

次の2議案について、一括提案を行った

**【議案第1号】令和4年度公立学校共済組合岩手支部決算について**

資料に基づき、事務局長が説明した。

厚生事業のうち、特定保健指導、人間ドック、脳ドック、メンタルサポート及び宿泊施設利用補助事業について次のとおり説明した

- ・ 特定健康指導について、組合員の皆様の生活習慣予防で年々増加状況であったが、令和4年度については若干減少となった。引き続き申し込み勧奨の強化と対象者が保健指導を受けやすい実施方法を検討し特定検診指導受講者数の増加に努めたい。
- ・ 人間ドック、脳ドックについては申し込みが毎年多い。希望通りに受診できなかった部分もあるが、医療機関と交渉し枠の拡充に努めているところである。組合員のニーズに応えられるよう各病院の定数の確保に今後も努めていく。
- ・ メンタルヘルスサポートについては、相談体制を整備しているところである。保健師による各地の巡回は学校からのニーズに応じて対応するほか、沿岸被災地に看護師を配置しているところである。組合員及び管理監督者からのニーズに対応している。引き続き相談体制の維持充実を図る。
- ・ 宿泊施設利用補助について、令和4年度の利用者は前年度より増加した。経営状況は依然厳しいが支配人と支部と連携しさらなる経営改善に努めていく。

**【議題第2号】令和4年度公立学校共済組合盛岡宿泊所決算について**

資料に基づき、支配人が説明した。

**【監査報告】**

監査報告書のとおり監査員から報告した。

—意見・質疑—

[委員]

議案第2号について確認したい。資料1「令和4年度の利用人員の状況」について、令和3年度の宿泊外-宴会-7月の利用人員が跳ね上がっているが理由は何か。

[盛岡宿泊所]

令和3年度の利用人員に企画商品の購入者数を含めているため数値が高くなっている。指摘の部分については、令和3年度に企画商品のうな重とステーキ重の購入者数が含んでいる。

[委員]

第1号議案の貸付経理について、貸付利率を教えてください。

[事務局長]

一般貸付、住宅貸付ともに年1.32%である。

[委員]

福利厚生ということはわかるが、1.32%の貸付利率をとって、経費のほとんどが人件費に充てられている。貸付事業は継続という方向なのか、見直すなどの計画はないのか。

[事務局長]

貸付については、今現在見直しの計画はない。  
利率については、本部で決定しているものであるが、変更するという話は聞いていない。

[議長]

支部独自で決めるということはあるのか。

[事務局長]

本部で決定している。支部で見直しということはできない。

[議長]

あいさつでもふれたが、支配人以下職員が頑張っている。ここにいるみなさんのそれぞれの組織で利用してもらいたい。一番は、宴会ということで良いか。

[支配人]

今年は、会議については100%以上回復している。4月は単月決算で黒字となっている。  
会議は戻っており、宿泊もぼちぼち戻っているので、宴会が戻れば、コロナ前の黒字決算まで戻ることになる。宴会も今年に入り、かなり良い形になっている。今年期待に添えるようにしていきたい。宴会は動くお金が大きい。デリバリー1ヵ月分の売り上げを宴会2、3日で賄える。宴会での利用に御協力願いたい。

—議案について、一括して承認の可否を諮った—

2議案は意義なく承認された。

#### 【その他】

なし

(4) その他

事務局から2点連絡する。

- ① 今年度は、第2期データヘルス計画最終年度であり、次期計画策定の年となっている。第3期データヘルス計画については、第2回運営審議会においてお諮りする予定であるが、策定にあたり、各関係団体にご意見等をお伺いする可能性があるかと思う、ご承知おきいただきたい。
- ② 今年度第2回運営審議会について令和6年2月9日（金）10時から開催を予定している。ご承知おきいただきたい。

(5) 閉会（11：00）